ASAHIKAWA
CITY

分野別個別意見

〈令和４年度〉

1　観光分野

テ ー マ／観光客の誘致に向けた取組について

■ 会議の開催状況

５月３０日／キックオフミーティング
（全体会議）

７月　４日／ワークショップ

８月１８日／ワークショップ

１０月１４日／ワークショップ

１１月　１日／報告会（全体会議）

○ 会議で示された個別意見数／４１項目

【参加者】

氏　名	所属等
伊藤 公久	旭川ホテル旅館協同組合
井上 雅之	株式会社オーシャン
大野 由加利	旭川観光物産情報センター
柏葉 健一	旭川観光コンベンション協会
喜久野 夕介	旭川ふるさと旅行株式会社
菊原 洋樹	旭川シティホテル懇話会
椿谷 有海	公募参加者
西野目 智弘	西野目産業株式会社
山崎 五良	男山株式会社
米谷 侑治	公募参加者

■ 個別意見一覧

意見概要　1-1　商品造成・イベント実施／１５項目

取組の方向性【1-1-1】道の駅や市場などを活用した朝活プロジェクト

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	道の駅プロジェクト（各イベントの実施）	経済交流課	観光コンテンツとして収益化できるモデル構築が必要と考えており、採算性の見込みを検証しながら検討してまいります。
2	旭川の朝市を活用した競り体験商品造成	経済交流課	過去に７条買物公園周辺で行われていた「まいど！朝市」のように、今後、市民向けの朝市イベントを開催する際は、イベント企画の参考といたします。
3	長期間にわたる食のイベント開催	経済交流課	長期間にわたる食のイベント開催については、その内容・規模等に応じ、運営体制の構築や事業費・会場・出店者の確保など継続的に相応の業務と負担が生じます。そのため、関係事業者の意向等も踏まえながら、現在本市で実施している他のイベントも含め、ニーズや費用対効果について総合的に検討、判断していく必要があると考えております。

取組の方向性【1-1-2】旭川駅南の観光地化

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	旭川駅裏にビーチの建設	公園みどり課	ビーチの設置とは異なりますが、北彩都ガーデンエリアのさらなる利用促進のため、鏡池の水質を改善し市民の親水性向上を図る取組について検討中です。 令和6年8月には、鏡池の水質確認のため水質調査を実施しました。
2	旭川空港から旭川駅までの川下り実施	観光課	**実施** 大雪カムイミンタラDMOにより、旭川駅南側にあるあさひかわ北彩都ガーデンにおいて「まちなかアクティビティ」としてカヌーなどの体験商品を展開しました。

取組の方向性【1-1-3】旭山動物園における体験型アクティビティの充実

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	動物園における朝又は夜のイベント開催	旭山動物園	現在、毎年夏に「夜の動物園」を１週間実施していますが、動物の負担や体調への影響を考慮しますと、期間や時間帯を延長することは難しいです。朝の開園についても、動物の生態から見た必要性、開園までの準備時間の確保などから実施は困難と考えます。
2	動物園内でのラーメン屋などの出店	旭山動物園	園内の売店については、プロポーザル方式によって広く民間事業者から多様な企画提案を募集し選定しています。
3	動物園への新しい動物の飼育	旭山動物園	新しい動物種、特に希少な動物については、動物保護の観点から入手自体が難しい情勢となってきています。今後も北海道に生息している動物にスポットを当てていくという旭山動物園の方針を踏まえて、施設や動物がより良く過ごせる環境を考慮しながら慎重に状況を見極めてまいります。
4	ペンギンと一緒に滑れるスケート場の設置	旭山動物園	園内は傾斜が多く、スケート場を整備できるような平らで広い敷地がありません。また、ペンギンの散歩の実施目的や旭山動物園の行動展示の理念から実施は困難と考えています。
5	動物園を活用したナイトサファリin旭川	旭山動物園	現在、毎年夏に「夜の動物園」を１週間実施していますが、動物の負担や体調への影響を考慮しますと、期間や時間帯を延長することは難しいです。
6	動物園の行動展示の他に、運営や経営の視点を取り入れた運営	旭山動物園	民営的手法も含め、様々な運営形態の利点・課題等について整理し、必要性や効果を検討してまいります。

取組の方向性【1-1-4】旭橋付近での人工スキー場建設

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	旭橋付近での人工スキー場の建設	スポーツ 推進課	現状において、必要性や費用対効果など検討すべき課題が多く実現は難しいと考えております。

取組の方向性【1-1-5】温泉ガストロノミーツーリズムの実施			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
5	温泉ガストロノミーツーリズムの実施	観光課	**実施** 大雪カムイミンタラDMOにより、北海道観光機構の助成を活用し、旭川市内及び層雲峡温泉をめぐるツアーの実施やセミナーを開催しました。今後も、引き続き商品化へ向けた取組みについて検討してまいります。

取組の方向性【1-1-6】フェスの実施			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	スタルヒン球場でのフェスの開催	公園みどり課	**実施** 野球の使用に影響が出ないイベントの開催は可能です。
2	野外ライブができるライブ会場の建設	地域振興課	買物公園において、社会実験として「バスキング」の取組を実施し、音楽遠征などで買物公園を利用できる仕組を検討しています。 野外ライブができる会場の建設については、中心市街地には空きスペースもなく、周囲への騒音対策の問題もあることから、実施は困難であると考えています。

意見概要　1-2　情報発信／４項目

取組の方向性【1-2-1】大雪山を活用した取組			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	大雪山を活用したアクティビティの幅広い周知	観光課	**実施** 各メディアやSNSを活用した広報活動や情報発信を積極的に行っています。

取組の方向性【1-2-2】プロモーションの強化			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	旭川にゆかりあるものを活用したプロモーションやキャンペーンの実施（関係人口拡大）	観光課	**実施** 国内外のイベント等で地場産品を活用したプロモーションを積極的に行っています。

取組の方向性【1-2-3】情報発信の強化

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	口コミを活用した情報発信	観光課	**実施** SNS等を活用して口コミに繋がるよう情報発信を行いました。
2	メディアを上手く活用した情報発信	広報広聴課	**実施** 旭川の魅力を動画を通して伝えるため、令和6年度からYouTubeにてオリジナル動画コンテンツを制作し配信を開始しました。令和７年度はInstagramにおいて、ハッシュタグ#find_asahikawaを活用し、旭川の魅力にスポットをあてた写真や動画をユーザー自身がInstagram上で共有する「ASAHIKAWA FINDER」事業を実施しています。

意見概要　1-3　受入体制充実／４項目

取組の方向性【1-3-1】バスやタクシーの受入体制充実

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	バスの外国語表記の統一	交通空港課	**実施** 外国人観光客を含めた来訪者にとって分かりやすく利用しやすい公共交通とするため、バス案内の充実について事業者とともに検討を進めてまいります。また、代替の取組としてGooglemapによる市内バスルート検索が可能になったことで、スマートフォンで多言語検索が可能となりました。
2	観光タクシードライバーの登録制	観光課	関係団体との協議を重ねながら、ニーズや費用対効果について総合的に検討、判断していく必要があると考えております。
3	様々な分野と連携した観光振興の取組	観光課	**実施** ANAや市内交通事業者等と連携し、Universal MaaS（ユニバーサルマース）事業に取り組んでいます。このことにより、旭川エリアを対象とした「一括サポート手配」や「ユニバーサル地図／ナビ」サービスが使用できるようになり、二次交通の改善やバリアフリーの観点での観光受入体制の充実が図られました。

取組の方向性【1-3-2】広域でのＭａａＳの運行			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	市内及び周辺自治体との広域のMaaS運行	観光課	**実施** ANAや市内交通事業者等と連携し、Universal MaaS（ユニバーサルマース）事業に取り組んでいます。このことについて、旭川大雪圏におけるユニバーサルマースの実証実験の取組を進めました。

意見概要　1-4　その他／１項目

取組の方向性【1-4-1】観光関係団体への民間活力導入			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	ＤＭＯなど観光関係団体への民間能力の取入れ	観光課	**実施** 地域活性化起業人制度の活用（DMOへの出向）により、民間能力を事業に活かしています。企業型地域活性化起業人制度により1名（阪急交通社）、副業型地域活性化起業人制度により1名を活用し、DMO業務に従事させています。

取組の方向性【1-4-2】コンシェルジュの育成

その他の意見／１７項目

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	サステナブルツーリズムの実施	観光課	本市における豊かな自然環境や地域の文化を学習・体験する観光について、関係団体と協議を進めながら、実施について検討を進めてまいります。
2	リアルスポーツとeスポーツを活用した、スポーツツーリズムの実施	経済交流課	eスポーツを活用したスポーツツーリズムの実施については、ICTパークを活用した事業が想定されます。しかし、ニーズの把握や運営体制の構築に加え、eスポーツのタイトルによっては、権利元による許諾や風営法等の兼ね合いから展開が難しいものもあるため、採算性を含めた実施の可否を慎重に調査・検討する必要があります。
3	旭川木材を使ったアスレチック広場の建設	公園みどり課	現在、アスレチック広場の建設予定はありませんが、建設する場合には旭川木材の使用を検討します。
4	透明な橋（ガラスやアクリル板）の建設	土木建設課	架設場所における観光分野への効果や必要性、費用対効果、技術的に可能かなど検討すべき課題が多く実現は難しいと考えております。
5	アミューズメント複合施設建設	経済交流課	民間事業者による採算性等の検討が必要であるほか、市が主導して実施する必要性など検討すべき課題が多いものと考えます。

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
6	旭川空港の利用促進と利便性ＰＲ	交通空港課	**実施** 空港運営会社や航空会社、路線で結ばれた地域などと連携して、空港や地域におけるイベント、広告宣伝を実施しており、今後も継続してまいります。
7	旭川空港におけるＨＡＣの離発着	交通空港課	**実施** 航空会社へ訪問し、要望・意見交換を行ったほか、遊覧飛行のチャーターに取り組んでいます
8	旭川空港と中部国際空港の路線強化	交通空港課	**実施** これまでの旭川・名古屋両地域での路線ＰＲ活動と、航空会社への要望活動を今後も継続していきます。 令和７年度も名古屋市内のイオンモール（あさひかわ観光誘致宣伝協議会対応）、イオンモール旭川西でPRイベントを実施したほか、大雪おみやげ博inセントレアでのPR事業も実施しました。 また、令和７年度も7月から9月の夏季運航に加え、12月から1月の冬季運航があり、令和８年度には夏期運航が7月から10月までと運航期間が延長されます。
9	旭川空港から西神楽駅の間をゴンドラ移動	交通空港課	実現については、利便性、需要、技術面等において課題も多く、難しいものと考えています。
10	旭川空港を活用したオープンジョーの実施	交通空港課	広い北海道で広域観光需要を取り込むため、空港運営会社に対して具体の提案を促していくほか、７空港所在自治体と北海道エアポートとの連携事業にてオープンジョーも含めた利用促進PRを実施します。
11	市内観光周遊バスの運行実施	観光課	利用実績が伸びずに事業を廃止した経過があったため、バス事業者と採算性及び継続性について協議し、チケットの値上げと観光客にも利用しやすいよう、旭川空港～市内も利用できるよう路線を増やしました。
12	外国語表記の充実とＱＲコード等活用	観光課	それぞれの観光施設と協議しながら、外国人をはじめとした観光客の利便性向上に努めてまいります
13	旭川空港線（バス）の荷物スペースの変更	交通空港課	バス事業者等へのヒアリングの結果、車内への荷物スペースの設置は定員が減少することとなり、空港バスという性格上、極力積み残しは避けたいことから、対応は困難との回答でした。

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
14	産業、教育、文化、スポーツなど各分野との連携強化	産業振興課	**実施** 地域の教育機関と連携し、地域企業との連携促進や地域の技術者育成に取り組んでまいります。 地域連携技術者育成支援事業として、旭川高専と連携した事業を行っています。
		文化振興課	**実施** 令和４年に北海道音楽大行進の90回記念事業として実施したミュージックウィークについて、観光課及び観光コンベンション協会等と連携し、事業内容を変更しながら継続事業化を図り音楽のまちとしての観光振興の拡充に努めています。 実行委員会を組織し、はれて屋台村などを会場とした事業を実施して観光振興の拡充を図っています。また、令和６年度及び令和7年度は豊中市との交流事業も実施して一層の観光振興に努めました。
15	外国人対応における従業員の教育	観光課	外国人対応セミナーなどインバウンド対応の一環として研修事業の必要性を検討してまいります。
16	市内観光関係団体の統廃合と効果的・効率的運営	観光課	関係団体の意向等を踏まえて、統廃合などの検討を継続してまいります。
17	観光関連経済統計の整備	観光課	様々な取組を進める上で、状況に応じて必要な情報を収集してまいります。

2　農業分野

〈令和４年度〉

テ ー マ／米プラスの産地づくり

－わたしたちが描く、２０３０年のあさひかわ農業－

■ 会議の開催状況

５月３０日／キックオフミーティング（全体会議）

７月１４日／ワークショップ

８月３１日／ワークショップ

１０月１７日／ワークショップ

１１月　１日／報告会（全体会議）

○ 会議で示された個別意見数／３６項目

【参加者】

氏　名	所属等
鹿野 剛	東旭川農業協同組合
川村 さくら	たいせつ農業協同組合
佐藤 絢也	たいせつファーマーズリーダー
佐藤 まどか	公募参加者
佐野 敏子	東神楽農業協同組合
清水 光子	あさひかわ農業協同組合
高橋 直人	株式会社キョクイチ
谷越 亜紀	公募参加者
野﨑 達也	丸果旭川青果卸売市場株式会社
守屋 大輔	指導農家

■ 個別意見一覧

意見概要　2-1　儲かる農業／１１項目

取組の方向性【2-1-1】新たな品目へのチャレンジや生産拡

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	新たに選定した高収益作物などの生産拡大（さつまいも、オクラなど）	農業振興課	**実施** 令和5年度から園芸作物施設等整備導入支援事業を実施しており、機械等の導入支援を継続して行っております。 ○導入経費の一部を補助 R5～R7導入実績： 40戸 （機械：66台、コンテナ等：3,030個）
		農業センター	**実施** サツマイモなどの新規作物の導入に関わる栽培試験の検討・実施を、今後も継続してまいります。
2	競合相手が少なく、売れ行きも好調な冬季栽培野菜の生産拡大（寒締めほうれん草、雪の下にんじんなど）	農業振興課	**実施** 平成30年度から令和4年度までは、冬期野菜栽培普及推進事業により農業者への支援を実施しており、現在は園芸作物施設等整備導入支援事業により冬季野菜の生産に必要な農業用機械の導入支援を行っております。

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
3	多品目栽培や品質・収量向上のための基盤整備の推進	農林整備課	**実施** 国、道、関係団体と連携し、国・道営土地改良事業を推進しており、また、ほ場条件の改善を図る、生産基盤改善促進事業を推進してまいります。 〇基盤整備事業に係る農家負担分の一部を市が負担。 〇生産性の低いほ場の改善のため、事業費の一部を市が助成。

取組の方向性【2-1-2】無駄なく全て売り尽くす仕組づくり

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	規格外野菜をカット野菜やセット（キット）野菜などへ加工・販売	農業振興課	**実施** 令和5年度から、農畜産物商品開発支援事業という名称で農畜産物加工品の開発支援を実施しています。 〇開発支援　3件
2	廃棄しなければならない野菜（部分）を有効活用	農業振興課	**実施** 令和5年度から、農畜産物商品開発支援事業という名称で農畜産物加工品の開発支援を実施しています。 〇開発支援　3件
3	ＥＣサイト等を活用した販路拡大	農業振興課	**実施** 令和3年度に、農産物等インターネット販売開設等支援事業による支援を実施しました。 また、令和5年度にブランド推進係のSNSを開設し、プレゼントキャンペーンによる商品紹介サイトへの誘導を行っています。 〇プレゼントキャンペーン　41回（R8.2時点）
4	売る側（市場、販売者）が販売計画を立てやすくできるよう収穫量予測を共有	農業振興課	市場と農協（青果連等）の連携が必要であることから、青果連等に情報共有を行ってきましたが、天候等に大きく左右される収穫量を予測することは困難であるとの判断に至っております。

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
5	農産物（余剰分を含む）を必要とする人やお店へ繋げられるシステムづくり	農業振興課	**実施** 令和６年度から、社会貢献型旭川産農産物販路拡大事業として実施しております。 ふるさと納税等の寄附金を活用し、これまでに全国の子ども食堂等へ15,707kgの旭川産米を配布しました。
		廃棄物政策課	**実施** 規格外品なども販売される直売所の情報発信を行うほか、フードドライブ活動を行う事業者やフードバンク団体の情報について周知を行うことで、食品を必要とする人に届ける取組を行っています。

取組の方向性【2-1-3】付加価値の向上

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	輸入品消費を抑えたり、国内外へ拡販を視野に入れ、旭川の農産物を冷凍野菜の原料として売り込む	経済交流課	**実施** 国内外への販路拡大事業について、例年積極的に実施しております。
2	米の消費増を目指し、小麦価格高騰やアレルギー対応など注目度が高い米粉の利活用拡大（施設整備や製粉所利用料等への支援、製粉工場誘致など）	農業振興課	**実施** 施設整備の支援として農畜産物商品開発支援事業を実施しているほか、旭川産米及び米粉ＰＲ事業により、旭川食のアンバサダーによる旭川産農産物のＰＲイベント等を実施しております。 食のアンバサダーの取組により、米粉を使った「あさひかわサンド」を北の恵みあさひかわ食べマルシェで販売しました。
		企業立地課	**実施** 製粉業を含めた食品関連産業について、企業誘致における重点業種と位置づけ、誘致活動を継続しております。 展示会出展やセミナー等への参加により折衝の機会を創出したほか、立地有意企業と個別の折衝も実施しています。
3	旭川の米や野菜を使用した菓子開発など他業種（地元業者）とのコラボによる商品化	農業振興課	**実施** コラボ商品の開発はこれまでに行われており、市が他業種とつなぐことについても既に実施しております。

意見概要　2-2　見（魅）せる農業／８項目			
取組の方向性【2-2-1】市内外へのアピール力強化			
	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	市民広報誌など、保管性や視認性の高い紙媒体の特異性を活かした情報発信	広報広聴課	**実施** 紙媒体の視認性の高さを活かし、写真や図の使い方、色の組み合わせなどを工夫することで魅力を効果的に伝えていきます。また、紙ならではの保管性を活かすため、「空」をテーマにするなど表紙に特色を持たせ、写真が目立つようなデザインにすることで、コレクションしたくなるような工夫も行うなど、並べて飾った際に、表紙そのものが市のプロモーションとして効果を発揮できるようにしているところです。
		農政課	**実施** 農業関連記事掲載の際は情報提供を実施しており、また、江丹別若者の郷での体験会などの案内についても掲載しております。
		農業振興課	**実施** 年一回程度、広報誌への農業関係記事掲載を実施しているところであり、回数や特集の内容について、都度関係課と検討しながら今後も継続してまいります。
		農業センター	**実施** これまでには、家庭菜園講習会、体験農園、農産加工体験会の案内などを掲載してきたところであり、今後も継続してまいります。
2	YouTubeやTikTokなどを含めたソーシャルメディアの効果的活用による情報発信	広報広聴課	**実施** SNS運用ツールを活用し、主にXやFacebookでタイムリーな市政情報を日々発信しているほか、LINEやInstagramにおいても、各プラットフォームの特色を踏まえ、情報・魅力発信を行っています。
		農業振興課	**実施** 令和5年度にブランド推進係のSNSを開設し、「プレゼントキャンペーン」や「農業の一年」など農業と食に関する情報発信を随時行っています。

<table>
<tr><th colspan="2">個別意見</th><th>担当課
関係課</th><th>検討結果・取組実績</th></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">旭川ゆかりの著名人やインフルエンサーを起用したＰＲ活動</td><td>農業振興課</td><td>**実施**
令和５年度、下國伸シェフに「旭川食のアンバサダー」へ就任いただき、旭川産米及び米粉ＰＲ事業や「あさひかわ食の応援隊」、各種料理教室の実施など各種PR事業を実施しています。</td></tr>
<tr><td>広報広聴課</td><td>**実施**
本市にゆかりがあり、影響力が高い人の起用について、担当部局と連携しながら、効果的な事業のＰＲを図っております。
〇旭川食のアンバサダー（下國シェフ）
〇旭川スポーツみらいアンバサダー
（北口選手、町田選手、星野氏）
〇旭川グリーンアンバサダー（吉田氏）
〇北海道旭川市ご当地Vtuber（旭川ユカラ）</td></tr>
<tr><td>4</td><td>デザイン都市として、農業と旭川デザインプロデューサーなどとの連携</td><td>産業振興課</td><td>**実施**
地域の企業や学生と一緒に課題意識を持ち、農業の課題を「デザイン」で解決していく展開を幅広く検討してまいります。
令和５年８月には、旭川デザインプロデューサーと地域の生産者や農業高校と連携したイベントを試験的に実施しました。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>タクシーやバスなど、公共交通機関を活用した旭川農産物のＰＲ</td><td>農業振興課</td><td>当該事業を実施しようとする事業者に対して、支援の可能性を検討してまいります。</td></tr>
<tr><th colspan="4">取組の方向性【2-2-2】生産者や生産現場を知ってもらうきっかけづくり</th></tr>
<tr><th colspan="2">個別意見</th><th>担当課
関係課</th><th>検討結果・取組実績</th></tr>
<tr><td>1</td><td>米どころならではのイベント開催（米プラス土俵づくり、泥んこ相撲、絵画コンクールなど）</td><td>農業振興課</td><td>**実施**
旭川産米及び米粉ＰＲ事業として、ななつぼしレストランやななつぼし料理教室、食べマルシェでのカレーや米粉メニューの開発及び販売などのイベント等の取組を実施しています。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>体験型ふるさと納税返礼品の強化（農産物＋農作業体験の提供など）</td><td>行政改革課</td><td>季節限定のトマト収穫体験の返礼品については、返礼品の提供事業者・寄附者・体験施設との調整に係る事務手続等の課題により、受付を停止している状況です。
返礼品の強化については、実施主体となる返礼品提供事業者から、農産物や農作業体験の提案をしていただく必要があるため、関係課とも連携しながら、新規事業者の発掘を検討してまいります。</td></tr>
</table>

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
3	実は身近にある農業や食の大切さを知ってもらうため、子どもたちへ農業体験機会を提供	農政課	**実施** 「子ども農業体験塾」において、４月から11月までの間、田植え・稲刈り、酪農体験などを実施しています。令和５年度からトマト収穫体験及びトマトジュース加工体験を追加し、学ぶ機会の提供を継続的に行っております。
		教育指導課	**実施** 既に一部の学校では、総合的な学習の時間に稲作体験等を実施しておりますが、各学校において、子どもや学校、地域の実態等に応じて、実施を判断しているところです。

意見概要　2-3　繋がる農業／１０項目

取組の方向性【2-3-1】環境への負荷低減

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	エコロジカルな素材活用や量り売りなどパッケージの見直し、削減	農業振興課	実証実験を２年間、その後周知を３年間行いましたが、現時点では実施希望者が現れない状況にあります。今後、状況の変化などを注視しながら必要に応じて対応を検討してまいります。
2	消費者、流通・小売業者を巻き込んだ地球環境に配慮したパッケージへの理解醸成	農業振興課	青果連と連携しながら、販売者や農業者へ取組の周知を図ってまいります。
3	みどりの食料システム戦略を実践し、持続可能な農業の実現	農業振興課	**実施** 環境保全型農業直接交付金及びみどりの食料システム戦略緊急対策交付金による農業者支援を継続的に実施しているほか、更にクリーン農業を推進するため、令和7年度より市独自の有機農業に関する機械導入等に対する補助事業を実施しています。
		農業センター	**実施** 有機質資源（下水汚泥）の有効利用に向けた試験を令和7～8年度に実施するほか、農業センター体験農園では、試行期間（令和5～7年度）を経て、令和8年度から有機栽培体験区画を設置・運営します。

取組の方向性【2-3-2】労働力不足への対応、農業人材の確保

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	スマート農業のさらなる普及・拡大による、農家のワークライフバランスの実現、就農へのハードル低減	農業振興課	**実施** 熟練者でないと難しい作業の再現や、省力化による労働時間の短縮に向けて、スマート農機具の導入支援を継続して行っております。 〇導入経費の一部を補助 R4～R7導入実績 ・自動操舵システム　112台 ・水管理システム　34台
		農政課	**実施** 就農へのハードル低減に向けて、経営開始資金（経営開始から最大３年間の資金交付）及び経営発展支援事業（経営開始年度又は翌年度における機械・施設等の導入支援）等を実施しております。 〇経営開始資金 Ｒ４～Ｒ６年度　５経営体　計 21,750千円 〇経営発展支援事業 Ｒ４～Ｒ６年度　５経営体　計 19,926千円
2	営農の法人化で農業生産者をサラリー化することにより農業への就業率アップ	農政課	**実施** 継続的に北海道の法人化支援事業を活用しており、今後も法人化について進めてまいります。
3	今までの実績を活かした道内外からの新規就農者確保、受入側の負担軽減	農政課	**実施** 受入側の負担軽減のため、指導謝金に係る要領の見直しを行いました。また、引き続き、移住担当部局と連携しながら、就農相談会への出展やオンラインによる個別相談への対応のほか、移住相談会での就農パンフレットの配布などを行い、就農相談に対応していきます。
		農業センター	**実施** 北海道認定の研修教育機関として、新規就農希望者への研修を実施しています。
		地域振興課	**実施** 令和6年度に、新規就農者確保等に向けた新たな移住支援金を創設しました。 今後も引き続き、農政部と連携した移住相談対応を実施してまいります。

<table>
<tr><th colspan="4">取組の方向性【2-3-3】地産地消の推進</th></tr>
<tr><th colspan="2">個別意見</th><th>担当課
関係課</th><th>検討結果・取組実績</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="3">安心安全や価格安定などメリットが多い地産地消への理解促進</td><td>農業振興課</td><td>実施
農業者に講師になっていただく出前講座について、今後も継続的に実施してまいります。</td></tr>
<tr><td>農政課</td><td>実施
水稲、野菜の農作業体験や酪農の作業体験等を通じて、参加者の農業・農村・食への関心と理解を深めることを目指し、市民農業大学や子ども農業体験塾を継続的に実施しています。</td></tr>
<tr><td>健康推進課</td><td>実施
第４次旭川市食育推進計画（令和５年３月策定）において内容を盛り込むとともに、計画に基づくあさひかわ食育推進月間を定め、配布物やSNS、教室等において周知に努めています。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">直売所やこども食堂など農家と消費者が直接つながる仕組を構築</td><td>農業振興課</td><td>実施
JAや農家の直売所は既にあり、こども食堂へもJAから米や野菜の提供が行われています。また市では、複数の直売所に関して「あさひかわ直売マップ」をHP上に公開しています。</td></tr>
<tr><td>農政課</td><td>実施
「グリーン・ツーリズムガイドブック」や、市HP、SNSで直売所等の情報を発信しています。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3</td><td rowspan="3">農家と地元業者（飲食業、製菓業、弁当製造業など）をマッチング</td><td>農業振興課</td><td>実施
農家と地元業者のマッチングを既に実施しており、今後も継続して取り組んでまいります。</td></tr>
<tr><td>経済交流課</td><td>実施
農業振興課を通じて農業関係者に案内しながら、商談会等を複数回実施しており、今後も継続して実施してまいります。</td></tr>
<tr><td>産業振興課</td><td>実施
「フードフォレスト旭川構想」において、「Designed in Asahikawa」として、当地に集積する素材を加工・プロデュースし、素材の付加価値向上や新たな食の体験を創出する取組を進めております。</td></tr>
</table>

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
4	食の重要性を多くの人に伝え、将来のサポーターを増やす（農業者による学校への出前講座など）	農業振興課	**実施** 農業者に講師になっていただく出前講座について、今後も継続的に実施してまいります。
		健康推進課	**実施** 第４次旭川市食育推進計画（令和５年３月策定）において内容を盛り込むとともに、計画に基づくあさひかわ食育推進月間を定め、配布物やSNS、教室等において周知に努めています。
		教育指導課	**実施** 関係各係と連携し、子どもたちの学びを専門的な見地から支援していただく「あさひかわ子どもの学び人材リスト」に、５団体を掲載しています。

その他の意見／７項目

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	両者の課題を一緒に解決し、Win-Winな関係構築を実現する農福連携の推進	農政課	**実施** 北海道や関係機関と連携しながら、農福連携の課題解決や農福連携技術支援者を活用した農作業の切り出し、細分化等、取組の拡大に向けた支援を実施しております。 また、令和６年度からは、農福連携助成金による取組の増加を図っています。
		障害福祉課	**実施** アンケートによるニーズ把握や理解促進の研修を行い、農福連携の手法等について整理しました。今後も引き続き、各種相談やマッチング支援、専門的な知識や技術を有する者の調整、農業側と福祉側の相互理解や情報共有を目的とした実地見学・体験会などを実施し、農福連携の推進に取り組んでまいります。
2	旭川を拠点として農業体験をしつつ、近隣町村の温泉を楽しむ	農政課	**実施** グリーン・ツーリズム関連施設について、市のHPやSNSで情報発信しているほか、新たに農家民泊等を計画する者には、相談対応や申請手数料の補助を行っています。
		観光課	**実施** 観光のモデルコースやSNS等において、近隣温泉街への宿泊を含めたものを提案・情報発信しております。グリーン・ツーリズムの推進につきましては農政部との連携を今後、図ってまいります。

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
3	農協をひとつに	農政課	令和９年２月に合併・再編予定として、農協間で話し合いが行われていることから、合併後に必要とされる手続き・対応等について情報共有・協議等を行っていきます。
4	旭川の畑は一面、〇〇だけ！！	農業振興課	ニーズや実現可能性について検討を行いましたが、旭川市では多様な作物の栽培が可能であり、気候変動や病害虫などの危機管理の観点からも、単一作物の栽培を推進することは困難であると考えております。
5	朝ごはん給食で旭川産米のおにぎりを	子育て支援課	**実施** 子ども食堂での朝食提供については、現状実施団体にその意向が無いものの、農政部で実施している、企業版ふるさと納税を活用した子ども食堂への旭川産米寄贈事業について、子ども食堂への事業周知を連携して行っているところです。
6	地場作物の生食、惣菜、スイーツが１か所で楽しめる施設づくり	土木総務課	新たな道の駅の構想について、地場作物の物販等も視野に施設機能や設置場所の検討を進めております。これまで他都市の事例調査やニーズ把握のためのアンケートを実施してまいりました。令和7年度は、設置の可能性を検討するための基礎調査や、課題整理、適地の検討を行っており、今後も引き続き検討を進めてまいります。
7	新庁舎で旭川の生産物を使った料理の提供、農業イベントの開催	農業振興課	**実施** オープニングイベントでは旭川米を使用した下國シェフオリジナルカレーを販売したほか、令和6年度から食堂でJAあさひかわのYES!clean米が使用されるようになり、また、地場農産物フェア（計12回)を開催しているところです。
		職員厚生課	**実施** 総合庁舎の食堂では、旭川産の安全安心な食材を積極的にメニューに取り入れているほか、旭川産のななつぼしを米飯に使用しているところです。今後も地場産食材を積極的に利用してまいります。

3　福祉分野

〈令和４年度〉

テ ー マ／２０３０年の福祉分野のあるべき姿

「誰もがその人らしく、普段の暮らしの中で『しあわせに生きる（福祉）』
ためのあたたかい『つながり』が育まれるまち」を目指して

■ 会議の開催状況

５月３０日／キックオフミーティング
（全体会議）

７月２５日／ワークショップ

９月１４日／ワークショップ

１０月１２日／ワークショップ

１１月　１日／報告会（全体会議）

○ 会議で示された個別意見数／１２項目

【参加者】

氏　名	所属等
石川 雅之	公募参加者
神田 典行	旭川市障害者連絡協議会
五所 卓子	旭川大学保健福祉学部
高木 恵	公募参加者
高橋 糸子	旭川市社会福祉協議会
髙橋 通江	永山地域包括支援センター
高森 崇	旭川社会福祉施設協議会
玉田 昌嗣	旭川市老人クラブ連合会
中島 寛之	旭川市自立支援協議会
飛驒 晶子	旭川市民生委員児童委員連絡協議会

■ 個別意見一覧

意見概要　3-1　繋がりの希薄／４項目

取組の方向性【3-1-1】（町内会条例）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	町内会活動の活性化のために、札幌市のように町内会活動の意義や役割を条例化して、広く周知・啓発を行ってはどうか。	地域活動 推進課	まちづくり基本条例において、市民主体・地域主体のまちづくりを推進するため、市民等の役割や市長等の責務を定めており、その趣旨に基づき、様々な地域づくり事業に取り組んでいます。あわせて、町内会活動の更なる活性化に向け、札幌市をはじめとする他都市の事例も参考にしながら、条例化の効果や実効性について検討してまいります。

取組の方向性【3-1-2】（世代間の意見交換）			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	市職員を対象した町内会に係るアンケートの結果によると、40歳代を境に町内会への関心が薄いことが伺われる。世代間で今後の町内会活動に関する意見交換の場があると良い。 住民の中にはゴミステーションと外灯以外に町内会加入のメリットがないと考える人が多いと思われ、当該意見交換の場などを通して、過去にとらわれず、新たな町内会活動や隣近所との人間関係の在り方を地道に探る取組が必要である。 なお、町内会の問題は、未来会議における議論だけでは解決が難しいので、地域での継続的な話合いが重要となる。	地域活動推進課	町内会等の地域活動への関心度の低下や担い手不足といった地域課題に対し、市民委員会の役員が小学校の授業へ出向き「まちづくり」や「ふれあいづくり」など町内会の役割や重要性を伝え、将来の地域の担い手づくりに取り組んでいる地域もあります。 引き続き、町内会、市民委員会等と連携し、住民との意見交換の機会を設けるなど住民活動が活性化するよう支援し、持続可能な住民組織となるよう取組を進めてまいります。 具体的な取組として、地域情報共有アプリ「あさひかわくらしのアプリ」などを活用し、地域活動の情報発信を行っています。 また、町内会が今後も持続可能な形で活動をしていくために、令和7年7月1日から8月8日までの間に町内会についてのオンラインアンケートを、同年10月21日から11月4日までの間に町内会長を対象とした調査を、令和8年1月19日から2月27日までの間に職員に対するアンケートを実施しました。

取組の方向性【3-1-3】（支え合いマップの活用）			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	A地区で製作している「支え合いマップ」は、市民委員会・地区民児協・地区社協が情報交換をして、さらに圏域内の病院や市防災課とも協働している。製作を通し、有事への対応力向上だけではなく、地域の問題は地域で解決するという意識の醸成に繋がっていると思う。また、このような取組をきっかけにして住民同士の繋がりが生まれることがあると思うので、他の圏域でもこのような取組が広まっていくと良い。	福祉保険課	**実施** 旭川市地域まるごと支援員等による包括的支援体制整備事業の継続実施と、地域共生社会の実現に向け各地区で展開されている制度横断的、地域生活課題を把握できる多様な取組の紹介を行ってまいります。 また、各地区の取組事例を共有し、住民主体で各地域の課題解決に向けた意見交換を行う包括的支援体制整備検討会のほか、市ホームページにて各地区の取組紹介を今後も継続的に実施してまいります。

取組の方向性【3-1-4】（地域福祉を学ぶ場）			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	役職者が行う地域福祉の取組だけではなく、一人一人の住民が参加できる活動も重要。ただ参加を求めるのではなく、「何か楽しいことがある」という活動を住民で考えれたら良い。 住民レベルで地域福祉や地域共生社会に係る理解を深めるための学習の場を設けていくことも有用であると思う。 特に子どもについて、幼少期から地域に触れる機会がないと、地域への関心を育むことができないので、最も身近な町内会が然るべき活動を行っていることは重要であり、学校の教育の一環として地域福祉を学ぶ機会があっても良いと思う。 また、担い手の観点からも、今後の地域福祉活動の在り方について、一定程度市が指針を示し、多世代に対し周知・啓発を行っていくべきである。	福祉保険課	**実施** 地域住民の地域共生社会に係る学びの機会として、出前講座を拡充するとともに、子どもたちが地域福祉の考え方に触れる機会として、小学校における「総合的学習の時間」の活用等について関係部局とともに検討してまいります。 また、第５期旭川市地域福祉計画において、地域共生社会に係る条例の理念を盛り込むとともに、地域共生社会の実現を見据えた各種取組について体系的に示しました。 地域活動や地域福祉活動に対する市民の関心が高まるよう、地域福祉計画を題材とした出前講座を実施しました。

意見概要　3-2　担い手不足／４項目

取組の方向性【3-2-1】（人的・金銭的サポート）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	市として当事者活動への金銭的補助（当事者団体が柔軟に活用可能な財源の確保）の拡充・運営をサポートする体制（当事者活動を希望する人の登録制度や実際の活動における担い手の確保）を作るべきであると思う。 運営のサポートは、「担い手不足」と直結する問題であり、担い手の発掘や関係者・関係機関をつなぐ役割として、地域まるごと支援員の活動が鍵になってくると思う。	福祉保険課	実施 他自治体における当事者活動への支援の在り方を調査し、関係機関を対象とした研修を実施しました。 また、担い手不足については、地域まるごと支援員による活動支援を希望する団体や活動を支援できる担い手のマッチング等の参加支援事業を継続・拡充してまいります。

取組の方向性【3-2-2】（ICT活用による負担軽減）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	新たなつながりづくり・地域福祉活動の場を広げるためにＩＣＴを活用することが有用である。このことは災害対策やサロン開催の幅を広げると思う。 さらに、ＩＣＴの活用により、地域福祉活動の担い手の事務的負担（業務の煩雑さ）を軽減することができると考えられ、担い手不足の解消の一つの方策となり得る。担い手がするべきことをシンプルにすることが大切だと思う。	福祉保険課	実施 ＩＣＴ技術を活用し、民生委員児童委員の業務の効率化と負担軽減を図るための業務支援ポータルサイトを開発し、現在モデル地区での運用を開始しています。 新任委員も負担感が少なく、安心して活動できるよう各種機能の改善、充実や環境整備を進め、委員の疑問に対し、ポータルサイト内の蓄積データや公的制度・事業の情報を参照し、ＡＩが回答を自動生成する機能の実装等を段階的に行ってまいります。 〇民生委員児童委員専用業務支援ポータルサイト（クローバー）の開発（令和５年度） 〇民生委員児童委員ＦＡＱシステムの開発（令和６年度）
2	地域福祉活動におけるＩＣＴ活用を促進するためには、Wi-fiフリースポットの拡大などの環境面の整備や機器の貸出ができるようになると良い。	情報政策課	現在、公衆無線LANを利用できる主な公共施設は旭川市国際交流センター、旭川市市民活動センターCoCoDe、緑が丘地域活動センター「グリンパル」、ときわ市民ホール、中央公民館、江丹別公民館 であり、新庁舎においても公衆無線ＬＡＮを整備しました。今後も必要性を検討し整備を進めてまいります。

取組の方向性【3-2-3】（地縁組織の役割機能整理）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	住民間のつながりの希薄化と担い手不足は区別できない（濃厚なつながりが担い手につながる）。また、地縁組織間で重複する機能を整理すること、または役割分担や連携の在り方を協議する場を設ける必要がある。 一つの考え方として、「市民委員会」と「地区社協」が一体的な活動をできれば良いと思う。	地域活動推進課	**実施** 旭川市市民委員会連絡協議会、旭川市社会福祉協議会、旭川市民生委員児童委員連絡協議会が連携し、地区の市民委員会、地区社協関係者、地区民生委員を対象とした合同の研修会などを実施しています。令和6年7月には「地域コーディネーター安心見守り事業関係者当スキルアップ研修」令和6年11月には「地域支えあいのまちづくりセミナー」を実施しました。 また、地域まちづくり推進協議会では、地域課題の共有や解決に向けた活動を検討するなど、各団体が連携した取組を実施しています。 今後も町内会などの地縁組織と関係団体が連携した取組を進めることで、担い手不足を含む課題等への対策を検討してまいります。
		福祉保険課	**実施** 地縁組織間における機能の統廃合などを含めた一体的な活動を進めるためには、各組織において慎重に理解を求める必要があります。一方で、市民委員会連絡協議会、旭川市社会福祉協議会、旭川市民生委員児童委員連絡協議会等の緊密な連携により有意義な活動が行われている事例などもあることから、このような活動を広めつつ、長期的に在り方を検討することもアプローチの一つであると考えております。 地域まるごと支援員の取組として、市民委員会・地区社協・民生委員等を含め地域で活動する団体を構成員とする協議体を地域の実情に合わせ適宜開催しており、地域の課題や困りごとの解決に向け、各団体が緊密に連携して活動できる機会を創出しています。

意見概要　3-3　不十分な統合的支援体制／4 項目

取組の方向性【3-3-1】（地域まるごと支援員の浸透）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	地域まるごと支援員が活動の幅を徐々に広げ支援をしているが、民生委員やまち協委員などいわゆる役職者レベルまでの認知に留まっていると思うので、地域住民にとって身近な総合的な相談支援体制が整っていけば良いと思う。 地域まるごと支援員は相談の種類としてはワンストップだが、その後の支援は専門機関に繋ぐことも往々にしてあるので、各地域で様々なケースに対応可能な拠点があると良い。 いずれにしても、既存の相談機関では対応が難しいケースやつなぎ先が不明瞭なケースについて、地域まるごと支援員に話ができるというのは、地域生活における安心材料になっているので継続的に取組が行われることは良いことだと思う。	福祉保険課	地域まるごと支援員による多機関協働事業・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の継続・強化を行うとともに、複合化・複雑化した課題を抱えるケース、支援属性不明ケースについて、各地区のまるごと支援員に相談できることを地域住民に周知してまいります。 地域まるごと支援員が、各地域の専門機関との円滑な協力体制を築いていくことで、相談受付後の様々なケースについて協働して対応してまいります。 また、増加する個別支援に対応し、支援を充実させるため、まるごと支援員を増員し事業の拡大を検討します。

取組の方向性【3-3-2】（行政相談体制の充実）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	行政の中にも総合的な相談窓口があることが理想である。 支援が必要な人は困っている内容を的確に伝えることが難しい場合が多いので、当該窓口では「相談者の話をしっかり聞くこと」が必要であり、その上で然るべき専門機関に案件をつなぐことができるような体制となるべきである。 そのために、しっかり聞く・関係する専門機関につなぐ意識・福祉各領域の素地に係る研修等が行われると良い。	福祉保険課	福祉関係部局での共通研修を検討したり、相談内容が様々な担当部局に関わる場合は、各部局間で円滑に連携し、適切に対応できるよう取り組んでまいります。
		子育て支援課	**実施** 子育て支援部においては、研修等を通じた専門的な知識の習得のほか、適切な支援や手続きにつなげるため、関係機関との連携を意識しながら業務を行っています。

取組の方向性【3-3-3】（認知予防・体操教室）			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	認知症予防教室や体操教室の自主化に向けた動きがあるが、市の事業として、同教室への医療・福祉・リハビリの専門職の一定程度の関与は継続的に行われるべきであると思う。	長寿社会課	**実施** 旭川市地域リハビリテーション活動支援事業及び旭川市介護予防インストラクター派遣事業により、住民主体の通いの場に市内のリハビリテーション専門職、薬剤師、管理栄養士・栄養士、歯科衛生士、健康運動指導士を派遣し、活動の支援を実施しています。

取組の方向性【3-3-4】（需要に応じた有料老人ホームの設置数）			
個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	有料老人ホームは供給過多の状況であり、在宅支援を行うヘルパーの不足や介護保険料の上昇の要因の一つとなっている。また、今後（2040年頃）には空き施設が顕在化することが見込まれるため、地域密着型サービスのように、住宅型有料老人ホームについても、需要に合わせ必要に応じ施設数を抑制する仕組みがあれば良い。	長寿社会課	**実施** 利用者の自立支援に資する適切なケアプランとなっているか専門職等による点検の実施や、介護付き有料老人ホーム等への転換促進等を図り、介護サービスの適正化を進められるよう事業の実施及び有効的な手段の検討を行っています。

4　若者分野

〈令和４年度〉

テーマ／若者が考える魅力あるまちづくりについて

■ 会議の開催状況

５月３０日／キックオフミーティング
（全体会議）

７月２１日／ワークショップ

８月２６日／ワークショップ

１０月１８日／ワークショップ

１１月　１日／報告会（全体会議）

○ 会議で示された個別意見数／２４項目

【参加者】

氏　名	所属等
秋保 里衣	旭川信用金庫
池田 七夕梨	株式会社ＣｏｃｏＨａｒｅｔｅ
加納 光	公募参加者
合原 翔太	東日本電信電話株式会社
佐藤 有沙	公募参加者
髙松 治斗	公募参加者
武田 美紀	株式会社カジノドライブ
筒井 和騎	旭川青年会議所
沼澤 雪菜	旭川家具工業協同組合
山田 彩華	株式会社ムラサキスポーツ
吉見 季里子	株式会社グリーンフォレスト

■ 個別意見一覧

意見概要　4-1　#発動！あさっぴーちゃんねる。／３項目

取組の方向性【4-1-1】旭川のディープな魅力を再発見＆新たに創り出す
旭川を「語れる」旭川市民になることがまちの活力･魅力につながる

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	旭川市公式ＹｏｕＴｕｂｅの“サブチャンネル”を作り「プロフェッショナル～旭川市民の流儀」「あさっぴーがギネスに挑戦」など、旭川に興味を持ってもらえるような動画を発信	広報広聴課	**実施** 既存の市公式YouTubeチャンネルにおいて、まちの魅力発信や市への興味関心を図るためのオリジナル動画コンテンツを制作し、配信を行いました。 サブチャンネルの導入は、YouTube動画の効果や運用方法など派生的展開の有効性を検討してまいります。
2	ＹｏｕＴｕｂｅやＴｉｋＴｏｋを目的別にフル活用	広報広聴課	**実施** 既存の市公式YouTubeチャンネルにおいて、まちの魅力発信や市への興味関心を図るためのオリジナル動画コンテンツを制作し、配信を行いました。 TikTokについては、開設する場合の目的やコンテンツ内容などを整理し、費用対効果を見極めてまいります。

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
3	今注目のＶｔｕｂｅｒを作って話題性を高める	広報広聴課	**実施** 選挙管理委員会でVtuberの「旭川ユカラ」を起用し、選挙PRの動画を市公式Youtubeチャンネルに投稿しました。またXに投稿したPR記事を市公式Xでリポストするなど、話題性を高めるため、市公式アカウントでも発信を行いました。

意見概要　4-2　#あんな夢こんな夢「旭川もしもボックス」／３項目

取組の方向性【4-2-1】声が届く実感があれば「言ってみよう」「やってみよう」という気持ちになる
若者が自ら意見を出し、それを実現することで自信やまちの活気につながる

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	若者が集まり、若者自身に考えてもらう機会をつくる 若者が意見を言える場所をつくる 若者がいつでもオープンに語り合える場と、その声が行政に届く仕組みが必要	広報広聴課	**実施** 「旭川未来創造ポスト」を効果的に活用するため、事業についてSNSで周知を行うなど、若者をはじめとした幅広い世代から意見やアイデアを得る手法を検討してまいります。 また、令和７年度には、若者をはじめとした様々な方々から、付箋を使って意見を聴く広聴事業「つづりば」を試行しました。総合庁舎９階展望ラウンジで「旭川の推し」をテーマに旭川の魅力的なモノ、コトについて付箋で意見を募集し、意見が集まった様子を市の公式Xで発信しました。
2	飲食店に同席した人や市政に関わる職員が入り混じって旭川の未来などまちづくりの話をする	広報広聴課	**実施** 飲食店での意見交換に限らず、若い世代を含む市民からの率直な意見が市に届くことが大切と考え、令和５年度の旭川未来会議２０３０の開催に当たり、参加者の主体性を損なわない範囲で市職員の会議への関わりを認めることとし、参加者と市職員が一体となって会議を進めるよう改めました。
3	今津市長がときどきサプライズでその場に現れ、一緒になって未来について語り合う	広報広聴課	サプライズを前提とした語り合いの場の設定は、日程調整や事前準備の都合上困難ですが、市長が地域などに出向いて若い世代を含む市民との対話の機会を検討してまいります。

意見概要　4-3　＃買物公園通りイノベーション3.0／６項目

取組の方向性【4-3-1】行けばワクワクできる空間になることで人が集まり何かが生まれる
旭川の顔である「中心部の賑わい」＝「まちの賑わい」になる

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	買物公園に春夏秋冬を表す色彩や植栽を使っていくつかのコンセプトゾーンを作り、「行けば誰かに会え、語り合える」「何かやりたくなる」よい意味での「居場所・たまり場」にする	地域振興課	令和６年度は、未来ビジョンの実現に向けた社会実験として、居心地が良く滞在したくなるような空間を買物公園に４箇所設置しました。 令和７年度は、前年度の取組をアップデートし、交流などが生まれる空間になるような取組を社会実験として実施し、空間設置の検討・検証を行いました。
2	若者向けの「カルチャーセンター」の設立	地域振興課	令和６年度は、未来ビジョンの実現に向けた社会実験として、居心地が良く滞在したくなるような空間を買物公園に４箇所設置しました。 令和７年度は、前年度の取組をアップデートし、交流などが生まれる空間になるような取組を社会実験として実施し、空間設置の検討・検証を行いました。
3	買物公園において、スケートボードエリア、路上パフォーマーエリアなど現状では制限されているものについても、ルールを作って指定の時間や曜日だけ解禁するなどしてカルチャームーブメントを作る	地域振興課	**実施** 令和６年度は、未来ビジョンの実現に向けた社会実験として、パフォーマンスなど多様な目的で買物公園を利活用できる「バスキング」を実施し、使用場所の申請手続をワンストップで受付しました。 令和７年度も社会実験として「バスキング」の取組を実施し、簡易な申請で利用できる仕組の検討・検証を行いました。 〇令和7年度社会実験 「バスキング」出展数（41日間） ・総出展回数：206件
4	買物公園において、祭りを興す、芝生ロード、滑り台、ロング綱引きなど市民のアイディアを実現できる仕組みを作る	地域振興課	**実施** 令和６年度は、未来ビジョンの実現に向けた社会実験として、パフォーマンスなど多様な目的で買物公園を利活用できる「バスキング」を実施し、使用場所の申請手続をワンストップで受付しました。 令和７年度も社会実験として「バスキング」の取組を実施し、簡易な申請で利用できる仕組の検討・検証を行いました。 〇令和7年度社会実験 「バスキング」出展数（41日間） ・総出展回数：206件

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
5	屋外フェス、ストリートライブなど人が集まるイベントを開催	地域振興課	**実施** 令和６年度は、未来ビジョンの実現に向けた社会実験として、パフォーマンスなど多様な目的で買物公園を利活用できる「バスキング」を実施し、使用場所の申請手続をワンストップで受付しました。 令和７年度も社会実験として「バスキング」の取組を実施し、簡易な申請で利用できる仕組の検討・検証を行いました。 〇令和7年度社会実験 「バスキング」出展数（41日間） ・総出展回数：206件
6	買物公園でイベントを行う際の手続の簡素化	土木管理課	**実施** 買物公園は、道路法上の歩行者専用道路と位置付けられており、イベント等で使用する場合には、道路法に基づく道路占用申請や道路交通法に基づく道路使用許可など、法令に定められた手続が必要です。また、道路の占用や使用に当たっては、公共性や公益性を担保する観点から、原則として国や地方公共団体が後援する団体などに限定しています。さらには、買物公園でのイベントの企画調整を担っている旭川平和通買物公園企画委員会と各種調整や所定の手続が必要となります。 買物公園で実施した社会実験において、通常より簡素な手続で公共空間を利活用できるエリア（バスキングエリア）を設置したところ、想定以上の活用件数があり、取組の継続を望む声も多く寄せられました。この結果を踏まえ、引き続き官民連携組織である買物公園エリアプラットフォームにおいて、手続簡素化の仕組みを前向きに検討してまいります。

意見概要　4-4　＃わかもん×デザイン＝みらい無限大∞／４項目
～ワクワクを加速させる旭川式デザイン教育～

取組の方向性【4-4-1】旭川から多くの魅力が生まれ、世界に発信し繋いで継いでいく

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	「見て・触れて・遊べる」デザインミュージアム（ものづくりのプロセス展示や体験型の学び）を作る	産業振興課	**実施** デザインに対する意識の醸成を目的として、デザインを見て、触れて、体験できる「ＡＤＷ（あさひかわデザインウィーク）」や「まちなかキャンパス」を、産学官金連携により継続的に開催しています。
2	旭川式デザイン英才教育（デザイン思考を身につける教育を幼稚園や学校の授業に導入）	産業振興課	**実施** 小・中・高校生を対象としたデザインの教育を進めており、小学校を対象に市内のデザイナーと協力して、デザイン出前授業を行っています。引き続き「デザイン＝考える、企てる（広義の意味）」の普及に努めてまいります。
3	“旭川=動物園”のイメージを活かして町中の標識や公共の場所に動物のデザインを入れる	土木管理課	中心市街地には、ロードヒーティング制御盤の扉に動物の写真をプリントしたものが４基、豊岡４・１４条斜線通線には、動物のイラストと名前が書かれた看板を５５基設置しているなど、道路整備などの機会をとらえて、動物デザインを活用した対応を行っております。
		公園みどり課	スプリング遊具やシーソーなど公園の遊具に動物のデザインを取り入れています。
4	世界のデザイン都市との交流やデザイン分野で活躍する方との交流の機会を作る	産業振興課	**実施** デザイン分野の第一線で活躍する方を講師としたセミナーやシンポジウムを開催し、市民のデザインに関する意識の醸成向上に取り組んでいます。 令和6年10月には、旭川市でサブネットワーク会議（ユネスコ創造都市ネットワークのデザイン分野の都市が集まる会議）を開催し、各デザイン都市との交流を深めました。

その他の意見／８項目

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	公共施設などにデザイン性の高い建築物を導入	公共建築課	公共施設の建設に当たっては、周辺地域景観との調和や豊かで潤いのある施設とするため、公共施設色彩計画等検討委員会を開催し、色彩やデザイン等の検討を行っています。また、必要に応じて景観アドバイザーの派遣を要請し、専門的立場からの指導助言を受けています。
2	自然とＩＴが融合されたキャンプ、グランピングなどのアウトドア施設の整備	観光課	旭川の自然とデジタル技術とが融合した新たなアクティビティの可能性について、注視してまいります。
3	スケートパークをつくる	スポーツ推進課	スケートパークの設置につきましては、花咲スポーツ公園新アリーナ等基本計画におきまして、ニュースポーツエリアとして設置を検討するとしております。
4	ｅスポーツの推進などＩＣＴパークの更なる活用	経済交流課	**実施** ICTパークでは、eスポーツのみならず、プログラミングやデザインなど、多様なデジタルスキルを体系的に学べる様々な取組を実施しています。
5	公共交通の利便性の向上	交通空港課	市内路線バスの維持確保に向けた取組などを継続してまいります。
6	主要都市からの航空便の増加	交通空港課	**実施** ジェットスター・ジャパンによる旭川＝東京(成田)線が、令和５年１２月に就航しました。ほかにも、関西方面を中心とした路線誘致について、今後も航空会社に対する要望活動を継続してまいります。
7	地域おこし協力隊を増やして旭川の魅力をＰＲ	地域振興課	**実施** 地域おこし協力隊制度の周知を図り、デザイン活動推進員、まちなか賑いクリエイター、ジオパーク推進員など、制度活用部署や任用人数が徐々に増えています。今後も、本市の活性化や魅力向上につながるような協力隊制度の活用を行ってまいります。
8	投票証明書による割引などの特典を活用して若者が選挙や市政に興味を持つ仕組みづくり	選挙管理委員会事務局	**実施** 令和４年の参議院議員通常選挙から、投票所来場カードを発行し、期日前投票所や当日の投票所に配置しております。

5　環境分野

〈令和４年度〉

テーマ／未来のためのサスティナブルな街の実現

■ 会議の開催状況

５月３０日／キックオフミーティング（全体会議）

７月２１日／ワークショップ

８月　８日／ワークショップ

１０月１２日／ワークショップ

１１月　１日／報告会（全体会議）

○ 会議で示された個別意見数／３２項目

【参加者】

氏　名	所属等
朝倉 優美香	公募参加者
鹿島 浩平	北海道電力ネットワーク株式会社
菊池 佳	かみかわ版ゼロカーボン・アカデミー
北沢 侑也	生活協同組合コープさっぽろ
久保 澄佳	旭川ケーブルテレビ株式会社
佐藤 靖隆	公募参加者
中村 和子	旭川消費者協会
橋口 新平	旭川ガス株式会社
藤山 大樹	旭川中央交通株式会社
吉田 小夏	旭川グリーンアンバサダー

■ 個別意見一覧

意見概要　5-1　ゼロカーボンシティ旭川を目指して／９項目

取組の方向性【5-1-1】地産地消エネルギーの活用

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	地産地消エネルギー創出の可能性を官民連携で検討	環境総務課	市内の再生可能エネルギー導入・活用に関するゾーニングマップの作成を進めており、それを基に、地産地消エネルギー創出の可能性について検討してまいります。
2	上川地方の市町村と連携し、再生可能エネルギー資源の可能性を調査	環境総務課	旭川大雪圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約などに基づき、近隣町との間で再生可能エネルギー資源の調査に向けた協議を進めてまいります。
3	地場の再生可能エネルギー資源の有効活用のため、エネルギーの地産地消を検討	環境総務課	市内の再生可能エネルギー導入・活用に関するゾーニングマップの作成を進めており、それを基に、エネルギーの地産地消について検討してまいります。

<table>
<tr><th colspan="4">取組の方向性【5-1-2】脱化石燃料</th></tr>
<tr><th colspan="2">個別意見</th><th>担当課
関係課</th><th>検討結果・取組実績</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">公共施設で使用する燃料の脱化石燃料</td><td>環境総務課</td><td>令和6年3月に改定した旭川市地球温暖化実行計画（事務事業編）を中心に、公共施設の脱炭素化に向け検討を進めてまいります。</td></tr>
<tr><td>管財課</td><td>令和5年度に供用開始した総合庁舎では、空調設備に使う燃料は、石油よりも環境負荷が少ないガスや電気を使用しているほか、太陽光や地中熱の再生可能エネルギーも活用しています。
また、第二庁舎の設備更新の際は、従来の重油を使用する設備から、ガス焚のボイラー等への移行を検討してまいります。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>公用車のＥＶ化</td><td>管財課</td><td>実施
令和6年10月にEV車2台を導入し、全職員が使用できる運用としました。今後は、その実績から運用上の課題等を整理しつつ、引き続き取組を進めてまいります。
○公用車として2台のＥＶ車を導入（R6年度）
利用実績：延べ740件利用
走行距離11,929km
電力使用量2,423.95kwh
（令和８年１月３１日現在）</td></tr>
</table>

取組の方向性【5-1-3】クリーン交通の推進

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	高齢者、若者にやさしい公共交通機関の整備（早い、安い、きれい、便利）	交通空港課	**実施** ユニバーサルデザインタクシーの導入に係る支援を実施しており、今後も継続して取り組んでまいります。（寿バスカード・バス無料DAYの実施）
2	歩きたくなるまち、自転車に乗りたくなるまち	環境総務課	令和6年3月に改定した旭川市地球温暖化対策実行計画を中心に、エコ通勤等の普及啓発など、市民の省エネ行動促進に向けた施策に取り組んでまいります。
		地域振興課	**実施** 令和４年度に改定した「旭川市中心市街地活性化基本計画」や、令和5年度に策定した「買物公園エリア未来ビジョン」の実現に向けて、令和6年度・7年度の2度、買物公園における滞在空間設置等の社会実験を実施し、回遊の促進に取り組んでおります。 〇令和7年度社会実験「滞在空間」アクティビティ調査 滞在人数　平均2.6倍増加（実験前後比較）
		都市計画課	**実施** 旭川市自転車活用推進計画に基づきながら、関係部局と連携し、安全で快適な魅力ある自転車利用環境の整備を進めております。 〇自転車走行空間の整備 〇高校生を対象にした自転車走行空間走行会・アンケートの実施
3	バス会社と連携し二酸化炭素を排出しないゼロエミッション車（ＺＥＶ）を公共交通機関へ導入	環境総務課	令和6年3月に改定した旭川市地球温暖化対策実行計画に基づきながら、バス（通勤通学用及び観光客等の双方）のゼロエミッション化に向けた施策について、調査研究を進めてまいります。
4	相乗りタクシーのシステムを導入し、エネルギー効率を高めた交通システムの構築	環境総務課	令和6年3月に改定した旭川市地球温暖化対策実行計画に基づきながら、相乗りタクシー（デマンド交通）についても検討を続け、エネルギー効率の向上に努めてまいります。

意見概要　5-2　ゼロウェイストタウンを目指して／１１項目

取組の方向性【5-2-1】ゼロウェイスト宣言

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	ゼロウェイスト宣言	廃棄物政策課	ごみ処理計画に基づき、廃棄物の排出抑制・資源化・適正処理を推進しているところであり、上勝町のような取組の実施は想定していません。

取組の方向性【5-2-2】ＲＥＤＵＣＥ／ＲＥＵＳＥ／ＲＥＣＹＣＬＥ

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	生ごみのコンポスト義務化	廃棄物政策課	生ごみの堆肥化は、講習会の実施などにより推進していますが、実際に取り組めるかどうかは住宅の状況などにも左右されることから、義務化は困難と考えています。
2	店舗のリターナブル容器の定着化・量り売りなどの推進	廃棄物政策課	実施 あさひかわエコショップの認定要件として、詰め替え商品の販売や量り売りの実施について規定し、これらの取組を推奨しています。 〇あさひかわエコショップ事業 　認定店舗　61店舗（令和6年度末現在）
3	マイボトル推進やアイコニックな給水所の設置	廃棄物政策課	実施 ごみ減量等推進優良事業所の認定基準として、マイボトルの利用推奨について規定し、取組を推奨しています。 〇ごみ減量等推進優良事業所認定事業所数 　98事業所（令和6年度末現在）
4	リペアイベントやフリマ、シェアリングエコノミー推進プロジェクト	廃棄物政策課	実施 壊れたおもちゃの修理や不要となったおもちゃと絵本の交換を行うイベントを実施しているほか、不要品一括見積サイト「おいくら」の運営会社と協定を締結し、不用物品をごみとせずリユースを促す取組を実施しています。 〇おもちゃの修理屋さん（R6実績） 　開催回数：２回、修理受付件数：73件 〇おもちゃと絵本のくるくる広場（R6実績） 　開催回数：２回、持込数：330個、引渡数：321個
5	緑のゴミ袋をなくそう	廃棄物政策課	緑色の指定ごみ袋（燃やせないごみ）を無くすことは困難ですが、現在、燃やせないごみとして処理している製品プラスチックの分別収集と再資源化に向けた検討を進めるなど、燃やせないごみの減量・資源化に取り組んでいます。

取組の方向性【5-2-3】食品ロスの削減

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	旭川の家庭ごみの３割以上を占める生ごみを減らしたい	廃棄物政策課	実施 生ごみの減量を図るため、生ごみ堆肥づくり講習会を実施しています。 〇生ごみ堆肥づくり講習会　8回開催（R6実績）
2	街中に環境スポットとなる拠点を設置	廃棄物政策課	中心市街地等に拠点としてスポットを整備・維持するには多額の費用が必要となるため、現状、実施は困難です。
3	フードバンク活動の市民への周知と活用促進	廃棄物政策課	実施 フードドライブ活動を行う事業者やフードバンク団体の情報について、市のホームページやイベントなどで周知・啓発を行っています。 〇民間フードバンク団体の取組等を紹介するパネルを展示 　期間：令和6年6月～令和7年3月
4	規格外品や未利用食品を必要とする人や事業者につなげる仕組みづくり	廃棄物政策課	実施 規格外品や未利用食品を必要としている方に届けるフードドライブ活動やフードバンク団体の情報について周知しています。
5	飲食店などで利用者が楽しく前向きに取り組める食べ残し対策の検討	廃棄物政策課	実施 食品ロスの削減に積極的に取り組む飲食店等を「あさひかわ食品ロス削減協力店」として登録しており、ステッカーや啓発資材等によって、食品ロスの削減についての呼びかけに取り組んでいます。 〇協力店　19店舗（令和6年度末現在）

取組の方向性【5-3-1】自然・野生生物との共生

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	自然と人の集まる森のようなまち	地域振興課	令和5年度に策定した「買物公園エリア未来ビジョン」の実現に向けて、令和6年度・7年度の2度、買物公園における滞在空間設置等の社会実験を実施しました。今後も取組みをアップデートしながら、交流等が生まれる空間設置に取り組んでまいります。
2	市民一人一人が野生動物との関係性を考える	旭山動物園	実施 旭山動物園は、野生動物との関係性について考える契機を提供することを理念のひとつとしており、今後もその考え方に基づいて取り組んでまいります。

<table>
<tr><th colspan="2">個別意見</th><th>担当課
関係課</th><th>検討結果・取組実績</th></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">未来を見据えた森林や河川などの開発</td><td>土木総務課</td><td>石狩川上流域において、治水対策と河川環境の保全などを目的とする流域治水プロジェクトの促進が図られるよう、各河川管理者に対して要望を行っており、今後も継続して取り組んでまいります。</td></tr>
<tr><td>地域振興課</td><td>令和5年度に策定した「旭川駅周辺かわまちづくり計画」に基づきながら、水辺空間の利活用について検討及び整備を推進してまいります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">森林の育成</td><td>環境総務課</td><td>実施
森林保全の重要性については、植樹イベント等の実施を通じて普及啓発を行ってきているほか、森林資源の有効活用の一つの手法である木質バイオマスの普及拡大に向けて、木質バイオマスストーブの導入に対する補助事業を実施しており、引き続きこれらの取組を中心に森林の適正な管理に向けて取り組んでまいります。</td></tr>
<tr><td>農林整備課</td><td>実施
市有林の整備を継続的に進めるとともに、未整備の民有林について、令和5年度から現地調査を行い、所有者と管理方法について協議等を進めております。
〇未整備民有林の調査
R5　東鷹栖・江丹別地区
R6　東旭川地区
R8　西神楽・神居地区（予定）</td></tr>
</table>

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
5	外来種の防除、生物多様性の保護	環境総務課	**実施** 市街地侵入状況等の調査を目的として、アライグマの試行捕獲を実施しているほか、令和5年度に外来生物に指定されたアカミミガメの調査・防除にも着手してます。 今後も関係団体等とともに効果的な外来種の防除等を検討しながら、地域の生態系や生物多様性の保全を図っていきます。 〇アライグマ捕獲実績（頭数） R2:491、R3:502、R4:559、R5:700、R6:559

取組の方向性【5-3-2】都市と自然の調和

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	北彩都ガーデンのような公園を増やす	公園みどり課	既存の公園を利用したガーデン機能の充実なども含め、市内の公園の充実を図ってまいります。
2	買物公園の緑地化	地域振興課	令和5年度に策定した「買物公園エリア未来ビジョン」の実現に向けて、令和6年度・7年度の2度、買物公園における滞在空間設置等の社会実験を実施しました。今後も取組みをアップデートしながら、交流等が生まれる空間設置に取り組んでまいります。

意見概要　5-4　目指す姿を達成するための学習や情報発信について／５項目

取組の方向性【5-4-1】体験型学習

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	ごみ処理場等の見学会	環境総務課	**実施** 見学会については既に定期的に実施しているため、今後も取組を継続していきます。
2	外来種ウチダザリガニ・アズマヒキガエルの防除体験	環境総務課	**実施** 従来実施している市民のウチダザリガニ及びアズマヒキガエルの捕獲・防除体験や情報発信について、関係団体とともに拡充を検討します。 〇アズマヒキガエル捕獲体験会 R6：延べ参加者数 99人 〇ウチダザリガニ防除体験会 R6：一般参加者数　195人

取組の方向性【5-4-2】情報発信			
	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	ＳＮＳや街頭モニターでの情報発信の強化	環境総務課	**実施** 旭川グリーンアンバサダーによって、SNSにおけるイベントの周知や、参加報告等の情報発信を実施しております。
		広報広聴課	**実施** 総合庁舎にてデジタルサイネージの運用を始めており、シティプロモーション動画や市役所のお知らせなどを放映しています。引き続き担当部局と連携しながら、各媒体を活用した情報発信を積極的に行ってまいります。
2	学校と連携した環境教育	環境総務課	**実施** 現在実施している、児童を対象とした「エコライフレポート」事業について、参加校の拡充を行っており、引き続き取り組んでまいります。 〇エコライフレポート参加校 R4：10校 R5：18校 R6：20校
3	市民・ＮＰＯ・行政の輪	環境総務課	市民・ＮＰＯ・行政の共同によって、環境への取組を身近に感じてもらうイベント等の実施について今後も検討してまいります。

6　子育て分野

〈令和４年度〉

テ ー マ／（仮称）あさひかわおやこひろばについて

■ 会議の開催状況

５月３０日／キックオフミーティング
（全体会議）
４月２７日／ワークショップ
５月３０日／ワークショップ
６月１７日／ワークショップ
７月　１日／ワークショップ
１１月　１日／報告会（全体会議）

【参加者】

氏　名	所属等
会田 さやか	子育て支援等活動実践者
小林 香澄	子育て支援等活動実践者
小山 英明	みどり幼稚園
松澤 美沙	子育て支援等活動実践者
丸山 えり	子育て支援等活動実践者
宮崎 啓	旭川あかしあ認定こども園
吉田 育子	子育て支援等活動実践者

○ 会議で示された個別意見数／２０項目

■ 個別意見一覧

意見概要　6-1　施設全体について／１０項目			
取組の方向性【6-1-1】安全・安心で行きやすい			
	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	●安全・安心で行きやすい ・通路やエレベーター、トイレなど、ベビーカーや車いすでも利用しやすいこと。 ・自動車で利用するときの駐車場 ・駐車場等からの動線	おやこ応援課	**実施** 施設への動線については、ビル１階からエレベーター等での来所を案内することとしたほか、子ども連れでも利用しやすいよう入口や通路の幅を広くしました。 隣接する立体駐車場との連絡通路については、手すりや床の隙間を塞ぐなどの安全対策を講じたほか、大型のベビーカー利用時などの困りごとに職員が対応できるようインターホンを設置しました。 利用者駐車場は、中心街共通駐車券ラクラクチケットを活用し、近隣に約500台分ある駐車場から利用者がニーズに応じて選択できるようにしました。
2	トイレには、子ども用便器を設置してほしい。	おやこ応援課	**実施** 女性用トイレに子ども用便器３基、男性用トイレに子ども用便器２基を設置しました。
3	トイレの個室には荷物置きを設置してほしい。	おやこ応援課	**実施** 女性用トイレの個室に手荷物が置ける棚を設置しました。

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
4	男子トイレにもベビーベッドやベビーシートを置いてほしい。	おやこ応援課	**実施** 男性用トイレの個室にベビーシートを設置しました。
5	荷物を入れるロッカーがあるといい。	おやこ応援課	利用者の活動スペースの確保を優先するため、ロッカーの設置は見送りました。

取組の方向性【6-1-2】健診や相談を気軽に

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	●健診や相談を気軽に ・子どもが健診に行きたくなるような、明るくて楽しい雰囲気 ・外出や子どもの遊びの「ついで」に相談できる仕掛け	おやこ応援課	**実施** 子どもが不安なくスムーズに健診を受けられるように、施設内の壁や天井を明るくやわらかい雰囲気の色や柄としたほか、プレイルームと健診スペースのイメージを統一しました。 プレイルームを活用し、子ども連れでも参加しやすい子育て応援イベントや施設開放を実施しています。令和６年度のおやこサポートウィークエンドには1,416組の来場がありました。
2	行事予定や子育てに関わる様々な情報を発信するインフォメーションディスプレイを設置してほしい（２箇所）。	おやこ応援課	**実施** インフォメーションディスプレイを２台設置し、当日の予定や子育てに関する情報発信に使用しています。
3	人目を気にせず相談や雑談ができるブースやコーナーがあるといい。	おやこ応援課	**実施** 個別の相談に対応できるよう相談室を複数設置しました。
4	子育てに関することや希望するイベントを投稿できるポストや掲示板があるといい。	おやこ応援課	**実施** 受付カウンターに未来創造ポストの投函箱を設置したほか、利用者アンケートを実施しています。

取組の方向性【6-1-3】みんなで子育て

個別意見		担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	●みんなで子育て ・子どもの年齢や発達段階における状況や行動を知ることができる。 ・子どもが騒いだりしてもあたたかく見守ってくれる。 ・「大丈夫だよ」と言ってくれる人がいる。	おやこ応援課	**実施** 施設の開放や子育て応援イベントを業務委託し、利用者と子育て関係の民間事業者とのつながりを確保するとともに、子どもが楽しく遊べ、保護者の困り感を受け止められる取組を実施しています。

意見概要　6-2　遊びの空間について（機能、設備、玩具、図書等）／7項目

取組の方向性【6-2-1】（機能・設備）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	「遊びの空間」は、イベント等にも使用できるように。	おやこ応援課	**実施** プレイルームを弾力的に運用するため、固定設備を置かず開放的な空間としたほか、仕切りとなるアコーディオンカーテンを設置し、同時に複数用途に使用できるようにしました。
2	遊びを提供する場合は、静かで落ち着いた遊びの場とする。	おやこ応援課	**実施** プレイルームに絵本を常設するほか、利用用途に応じた遊びを提供するよう配慮しています。
3	可動式の仕切りで、利用目的にあわせて柔軟に空間運用できるように。	おやこ応援課	**実施** プレイルームを弾力的に運用するため、固定設備を置かず開放的な空間としたほか、仕切りとなるアコーディオンカーテンを設置し、同時に複数用途に使用できるようにしました。
4	遊びの空間と健診スペースの中間スペースを仕切れるようにして、イベントや「遊びから健診」への導入空間として活用してはどうか。	おやこ応援課	**実施** 子どもが不安なくスムーズに健診を受けられるよう、待合室としても使用するプレイルームと健診スペースのイメージを統一しました。

取組の方向性【6-2-2】（玩具・図書）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	図書館分室のように、本の貸出、返却ができるといい。	おやこ応援課	waka・baの主な利用者である妊産婦、未就学児とその保護者が、自身及び児童の安全に特に留意していることに鑑みると、図書の返却のために不特定かつ一定数の市民が出入りする状況には少なからず抵抗感があると考えられることから、安心して利用できる環境確保のため、返却ポストは設置しません。
2	旭川産木製玩具を配置する。	おやこ応援課	**実施** 木製スロープトイの研究・製作に取り組む旭川農業高校の協力により、同校から1基の木製スロープトイを寄贈いただき配置しています。そのほか、木製のキッチンなど木製玩具を意識して設置しています。
3	知育玩具や絵本などを配置する。	おやこ応援課	**実施** プレイルームに絵本を常設するほか、利用用途に応じた遊びを提供するように配慮しています。

意見概要　6-3　愛称について／１項目

取組の方向性【6-3-1】（愛称）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	waka・ba wakuwaku（わくわく）、anshin（安心）、kosodate（子育て）、asahikawa（旭川）のそれぞれの頭文字と、「若葉」を掛け合わせ、子どもたちには若葉のようにすくすく育ってほしいという思いと、親には楽しんで子育てしてほしいという思いを込めて。 「ba」には、居場所などを表す「場」の意味も含む。	おやこ応援課	**実施** ツルハ旭川中央ビル２階に設置する子育て支援施設の愛称を「旭川市子育て支援部おやこ応援課ｗａｋａ・ｂａ」にするとともに、参加者の意見を踏まえてロゴマークを作成しました。

意見概要　6-4　将来的に付加する機能やイベントについて／２項目

取組の方向性【6-4-1】（付加機能）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	民間との連携	おやこ応援課	**実施** 利用者と民間事業者が効果的につながるよう、土曜日及び日曜日のおやこサポート事業を委託して実施しています。 今後も、アンケート等を行いながらイベント内容を検討してまいります。

取組の方向性【6-4-2】（イベントの実施）

	個別意見	担当課 関係課	検討結果・取組実績
1	お父さん、お母さん向けのイベント	おやこ応援課	**実施** 利用者と民間事業者が効果的につながるよう、土曜日及び日曜日のおやこサポート事業を委託して実施しています。 今後も、アンケート等を行いながらイベント内容を検討してまいります。